

記入年月日  
平成 28 年 3 月 5 日

事務事業名		全国報徳研究会市町村参画事業						事業区分		担当	
								新規/継続	継続	事務事業No.	010602000608
		政策体系上の位置付け						単独/補助	単独	所属課	090601
政策	総合計画の施策名	0106	広域行政の推進				主要事業				生涯学習課
策	政策名	01	市民と行政による豊かな地域の自治づくり				市長マニフェスト				
体	施策名	06	広域行政の推進				未来PJ事業			グループ	文化振興G
系	基本事業名	02	他自治体との連携強化				合併建設計画事業				
		財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し（年度～）		
	01	10	05	03	01	00	文化振興事業		⇒ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入		
法令根拠											

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	<p>①事務事業の概要（事務事業の全体像）</p> <p>全国の二宮尊徳ゆかりの市町村で構成し全国報徳サミットを年1回持ち回りで開催している。17加盟市町村と連携を図り尊徳翁の「至誠」「勤労」「分度」「推譲」の訓えを取り入れ行政に活かしたまちづくりを目指す。</p> <p>加盟17市町村《福島県南相馬市(次回開催地)・福島県相馬市・大熊町・浪江町・飯館村・茨城県筑西市・栃木県日光市・真岡市・北海道豊頃町)・那須烏山市・茂木町・神奈川県小田原市・秦野市・静岡県掛川市・御殿場市・三重県大台町・茨城県桜川市(第17回桜川市大会)》</p>	<p>②担当者が行う業務の内容・やり方・手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館講座(桜川市の歴史と文化講座)郷土史家館野義久講師との連携。</li> <li>・第20回報徳サミット真岡市大会に参加者を募集(市広報紙・二宮尊徳講座生・大和郷土史会)</li> <li>・館野義久講師との連絡調整</li> <li>・サミット参加市長・議長・講座生の参加連絡調整。</li> <li>・サミット参加の為、市庁用バスの運行。</li> <li>・防災協定を締結するにあたり生活安全課との連絡調整。</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・公民館講座(桜川市の歴史と文化講座)郷土史家館野義久講師との連携。 ・第22回報徳サミット南相馬市大会に参加者を募集・館野義久講師との連絡調整 ・サミット参加市長・議長・講座生の参加連絡調整。	サミット参加回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
加盟17市町村 各加盟市町村市民	桜川市人口	人	43,190.00	42,444.00	42,048.00	41,652.00	41,256.00
	加盟市町村	市町村	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
尊徳仕法を学びまちづくりを考える	サミット参加者数	人	74.00	0.00	30.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量	
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	22	20	46	46	46	46
			事業費計（A）	千円	22	20	46	46	46	46
	人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人		
		述べ業務時間	時間	240.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		人件費計（B）	千円	696	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	718	20	46	46	46		

27年度事業費 実績 (千円)				28年度事業費 予算 (千円)			
19 負担金補助及び交付金	20			19 負担金補助及び交付金	46		
		合 計	20		合 計	46	

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容

## 29年度の事業内容

30年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	全国報徳研究会市町村参画事業	事務事業No.	10602000608	所属課	生涯学習課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

## 【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成8年頃、旧大和村で開始した事業で二宮尊徳ゆかりの市町村が一堂に集い、報徳仕法を活かしたまちづくりを目的に開始した。 現在は市町村合併が進み数的には参加団体数が減っている。また、参加者の高齢化が進み将来の参加が危ぶまれるところである。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 合併を機に旧大和村に限らず市民全体に認識を高めるため、全地区や学校で啓発活動など二宮尊徳仕法講座を続けてほしい要望がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

## 【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

## 評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 防災協定が締結されたため、他自治体との連携推進については一定の役割を果たしている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市町村間の連携事業である
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 参加者が特定の地域に偏っており、平準化を図る必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 防災協定を締結しているため、生活安全課との調整が必要である。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は最低限で行っており、削減余地は難しい。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 広く市内より募っているが、応募者は特定の地区に偏っている
	⑧公平性	

## 【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	サミットの方向性として住民交流の活性化が期待できない場合は、脱退することも検討する必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 活動が一部の地区に偏らないよう、市民全体に啓発活動を行い、普及していく。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果		①																						
コスト削減優先度評価結果		⑨																						

## 【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>